

事務事業評価シート(平成19年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名		担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名					
08407	図書館運営事業		教育委員会	第1社会教育係	白鳥 義政	赤羽 みちる					
	一次評価年月日	平成 20 年 7 月 30 日	連絡先(内線)		2551						
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)							
	☒	一般	☐	特別	1052	図書館管理運営事業					
	☐	一般	☒	特別	#N/A						
	章		(コード選択)	5章	まなび合う社会の創造						
	節		(コード選択)	1節	生涯学び続けられる環境をつくる						
	項[基本施策]		(コード選択)	513	文化活動・社会教育活動の促進						
主な取り組み		(コード選択)	5134	図書館サービスの充実							
関連する計画等への位置づけ		☒	第四次行財政改革大綱	☐	3ヶ年実施計画	☐	主要業務報告	☐	その他		
事務期間		(開始)	T10	年度	~	(終了予定)	年度	L	開始時期不明	☒	終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町民・図書館利用者

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

社会・経済の変化とともに、ますます多様化する図書館利用者の学習需要に対応するために専門書や郷土資料をはじめとして、できる限り様々な資料や情報を利用できるように図書館資料の充実と同時にだれもが気軽に利用でき、くつろげる雰囲気作りに努力し、より多くの人々に利用してもらえ図書館にしていきたい。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 施設・設備・環境・資料の整備・充実
- 広報・文字放送・図書館だより・館内掲示・新聞等によるピーアールの充実
- リクエスト・予約・レファレンスサービスの利用促進
- 児童・高齢者・障害者等に対するサービスの充実をはかるため、地域ボランティアへの支援。

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)	
①	指標名	蔵書数	冊	57,508	60,131	58,000	59,000	60,000
	説明	図書・雑誌・ビデオ・紙芝居・録音テープの数	目標値設定の根拠	過去の伸びと廃棄図書分の減を推定して				
②	指標名	リクエスト・予約数	冊	1,088	887	1,100	1,200	1,300
	説明	リクエスト・予約数	目標値設定の根拠	平成19年度数値から推定して				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)	
①	指標名	利用者数	人	28,663	30,964	32,000	32,500	33,000
	説明	図書館入館者数	目標値設定の根拠	平成19年度数値から推定して				
②	指標名	貸出冊数	冊	58,898	60,958	61,500	62,000	62,500
	説明	図書館資料貸出冊数	目標値設定の根拠	平成19年度数値から推定して				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

☒

決算書・予算書等に記載の数字

☐

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成18年度決算	平成19年度決算	平成20年度見込み	平成21年度見込み																	
			29,791	28,985	23,044	21,708																	
対前年比		%		97.3	79.5	94.2																	
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)																							
B) 一般財源(税金)																							
		(千円)	29,791	28,985	23,044	10,854																	
①事業費		(千円)	12,876	11,689	12,190	10,854																	
対前年比		%		90.8	104.3	89																	
②人件費の概算		(千円)	16,915	17,296	10,854	10,854																	
対前年比		%		102.3	62.8	100																	
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費												
			H19	H20	H21	H19	H20	H21	H18	H19	H20	H21											
町職員(正規職員)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	2.00	2.00	1.00	1.00	14910	15016	8533	8533	
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2005	2280	2321	2321

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → 図書館システムの広域ネットワーク化 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している → 日々の業務の中で利用者からの要望にはできるだけ応えるようにしている。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

20年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

図書館利用者も年々増加傾向にある。移動図書館や読み聞かせ・図書館祭りの活動も実施して、町民に親しまれる図書館に努力が出来た。今後も利用しやすい図書館にしていける必要がある。	<input type="checkbox"/>	A. 貢献度 大	<input type="checkbox"/>	D. 上位施策なし
	<input checked="" type="checkbox"/>	B. 貢献度 中		
	<input type="checkbox"/>	C. 貢献度 小		

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止



上記 a~e を選択